

受動態で話す・書く (基礎)

年 組 番 名前 _____

この紙のゴール: 型を借りて、身の回りの物・地元の物を受け身で紹介できる

モデル モデル (先輩の書いた例。声に出して1回読もう)

This shrine was built about four hundred years ago.

この神社は400年ほど前に建てられた。

Sushi is eaten all over the world now.

すしは今、世界じゅうで食べられている。

型で書く 型で書く—____だけ自分のことばに 思考・判断・表現

ことば例 ((1): This anime / That song / Our school's curry bread + many students / people of all ages (2): Our school / This station / The old bridge (3): my town / Hokkaido / Kyoto + its hot springs / good rice / old temples)。過去分詞の支え: make-made-made / build-built-built / take-took-taken / write-wrote-written / speak-spoke-spoken / eat-ate-eaten / love-loved-loved / know-knew-known 気づき: 3つの型のうち by を使うのは(1)だけ—受け身の文は、by を付けないほうがふつうです。

(1) _____ is loved by _____. 人気の物と、その「愛している側」

(2) _____ was built about _____ years ago. 地元の建物と、そのおよその年

(3) _____ is known for _____. 地元・都道府県の「知られていること」

ペアで話す ペアで話す—1問ずつ交代

答え方の型: My town is known for _____. / It is made of _____. 必ずかしければ、上で書いた文をそのまま読んでよい。(2)はスリーヒントクイズ—受け身2文+1文でヒントを出し、相手が Is it ~? で当てる。

(1) What is your town known for?

あなたの町は何で知られてる?

(2) Quiz: It is eaten in summer. It is made of ice. You can buy it at festivals. What is it?

答えたら、自分でも1問作って出そう

あいづち・返しの型: Really? I didn't know that. Good hint!

受動態で話す・書く (基礎) | 自分の番

年 組 番 名前 _____

書く 3文つなげて「わたしの町の紹介」 思考・判断・表現

上の「型で書く」の3文を、順番にそのまま書きうつしてつなげる—それだけで町の紹介文になる。最後に、ペアの相手から聞いたことを1文で紹介: His / Her town is known for _____.

評価 先生はここを見ます (加点式)

型のとおり3文書けている (be動詞+過去分詞の形が正しい)	+5点
_____に自分のことは入っている	+3点
ペアの相手の町の紹介が1文ある	+2点

※減点式にしない—書いた量と伝わった中身を評価します。細かい誤りは返却後の書き直して扱います。

振り返り ペアで読み合って、相手の文でいちばん良かった1文をメモ